

研究部會報告

熱經濟技術部會の運營狀況

山 岡 武*

1. 鐵鋼生産合理化の重要對策たる熱經濟に關する技術を攻究し、その交流を圖ると共に實際の生産現場に普及徹底するのを目的として通商鐵鋼局では「鐵鋼熱經濟強化對策要綱」を作成、その活動が緒についたのは昨年六月であつた。

2. この要綱に基き日本鐵鋼協會研究部會の中に熱經濟技術部會を設け、熱計器、熱精算、加熱爐、三専門委員會を置いて學識經驗者によつて専門的研究をすると共に四半期一回總會を開催して専門委員會の結論を報告して現場に徹底すると共に各社から研究發表を行うことゝなつた。

3. 第一回總會を昨年七月二日開催前記部會専門委員會の設置の承認を得、委員長として山岡武（鐵鋼協會々長）専門委員長として熱計器山内二郎（東大教授）熱精算田中清治（東大教授）加熱爐湯川正夫（日本製鐵）各氏の就任を得た。

4. これより熱計器専門委員會では「熱管理用標準計測器」を決定すべく、鐵鋼連盟、日本鋼管川崎製鐵所、東都製鋼を會場として各委員よりの提出資料ならびに現場調査を行つた熱精算専門委員會では「標準熱精算方式」を決定すべく先づ加熱爐、平爐を採り上げ決定した。

加熱爐専門委員會では「標準設計」を決定すべく先づ文献の研究、燃焼機ならびに設計について検討した。

5. 十一月八日第二回總會を開き専門委員會運營狀況報告と各社研究が發表された。

6. これ以後も各専門委員會では引き続き審議を續行し、熱計器では平爐、加熱爐、發生爐、餘熱、機關、レキユペレーター等に對する標準計器（測定すべき値、計器、仕様、重要度）を一應決定し、熱精算では加熱爐、平爐、發生爐、熱風爐、高爐、蓄熱室、コークス爐に關

する方式を決定、加熱爐では 8 趙、14 趙連続加熱爐標準設計を検討し、先づ 8 趙の設計を一應完了した。

7. 第三回總會を本年三月一日開催「熱管理用標準計測器」「熱精算方式」「8 趙連續式鋼塊加熱爐標準設計」を報告午後は各社研究發表がされた。

8. 熱經濟技術調査團派遣

二月二十二日付で鐵鋼局長から鐵鋼協會長宛に調査團派遣を依頼し指定二十七工場に對し現地調査を行うことゝし、團長山岡武、北海道班長福井眞、關東班長高橋正一、關西班長山内二郎、九州班長田中清治の諸氏に委嘱した。北海道班は四月五日から十六日、關東班は同月十八日から二十八日、關西班は同月五日から十九日、九州班は同月十七日から二十八日まで行つた。

六月十四日鐵鋼局長に對する答申報告會を開催、團長班長から報告説明を行つた。この調査の結果優秀工場を表彰することゝなり、七月三十一日鐵鋼局長名をもつて十一工場の表彰式を舉行した。

9. 第四回總會を六月十九、二十日大阪市で開催、前記調査團の報告發表および各社の研究發表を行つた。

10. 以後熱計器専門委員會では現場檢定方法を、熱精算では電氣爐、混銑爐の方式および既決定の熱精算方式の再検討、加熱爐では 14 趙加熱爐標準設計を終了してレキユペレーター付 8 趙加熱爐設計、廢熱回收裝置を検討中である。

なを十一月、十二月頃計器、精算、加熱爐設計に關し鐵鋼局主催で講習會を東京、大阪で開催したいと考えて居る。

（昭和 25 年 9 月 10 日記）

* 熱經濟部會委員長